

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																									
ES13D006		学校実践実地研究 (Educational Field Practice and Research)					実習科目 教職実践コース																									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																										
必修	5	2	大学院教育学 研究科	通年		氏名 全教員 E-mail 内線																										
授業の概要	・学校実践実地研究 における分析・考察から導き出された具体的な方策を学校現場で実践し、その経過および結果に関する分析を通じて、その教育的実効性を検証することを目的とする。																															
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
目標1 設定した教育実践研究の課題(テーマ)について、それを解決する手立てを方策として案出し設定することができる。																																
目標2 自らの設定した方策に基づく実践を分析し、方策を検証する方法を考案することができる																																
目標3 自らの設定した方策を学校現場において実践することができる。																																
目標4 自らの設定した方策の教育的実効性を検証することができる。																																
目標5																																
目標6																																
目標7																																
目標8																																
目標9																																
目標10																																
授業の内容																																
1 事前指導																																
2 前期(10日間)																																
3 後期(15日間)																																
4 事後指導																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9																																
10																																
11																																
12																																
13																																
14																																
15																																
ラーニング	A:知識の定着・確認								工夫		その		他の																			
	B:意見の表現・交換																															
	C:応用志向																															
	D:知識の活用・創造																															
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修																															
	事後学修																															
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																															
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																				
	実習校における教育実践試案の構想と実践	80%																														
	実習日誌や観察記録等の資料作成	20%																														
注意事項																																
備考	・実地研究 の振り返りは、「教育実践研究」においてさらに省察を深め、各自の教育実践研究の検証につなげていく。																															
リンク																																
	URL																															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（公立特別支援学校教員）、牧英治郎（公立小学校教員）、立川研一（公立中学校教員）

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ES13D006		学校実践実地研究 (Educational Field Practice and Research)					実習科目									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	5	2	大学院教育学 研究科	通年		氏名 全教員										
						E-mail 内線										
授業の概要	・学校実践実地研究 における分析・考察から導き出された具体的な方策を学校現場で実践し、その経過および結果に関する分析を通じて、その教育的実効性を検証することを目的とする。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)										
目標1	設定した教育実践研究の課題(テーマ)について、それを解決する手立てを方策として案出し設定することができる。					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2	自らの設定した方策に基づく実践を分析し、方策を検証する方法を考案することができる															
目標3	自らの設定した方策を学校現場において実践することができる。															
目標4	自らの設定した方策の教育的実効性を検証することができる。															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	事前指導															
2	前期(10日間)															
3	後期(15日間)															
4	事後指導															
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認										工夫 その他					
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修															
	事後 学修															
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。															
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	実習校における教育実践試案の構想と実践	80%														
	実習日誌や観察記録等の資料作成	20%														
注意事項																
備考	・実地研究 の振り返りは、「教育実践研究」においてさらに省察を深め、各自の教育実践研究の検証につなげていく。															
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（公立特別支援学校教員）、牧英治郎（公立小学校教員）、立川研一（公立中学校教員）